

サイト名称

ICU 三鷹キャンパスの森

法人・団体名

学校法人 国際基督教大学

希望する支援の種類

- 金銭的支援

希望する支援の具体的な内容

ICU三鷹キャンパスの森は、武蔵野の面影を残す貴重な森林資源です。現在は雑木林の樹木管理やその他の保全活動によって、多くの動植物が生息・生育し、キンランなどの希少種が多く見られます。しかし、樹木の高木化や老齢樹のナラ枯れ等による雑木林の劣化と、それに伴うスキの過剰繁茂や外来種の侵入等への対策が喫緊の課題であり、生物多様性の確保に向けた、より一層の努力が必要となっています。本来の雑木林が持つ生態系の保全を図るため、本学では以下の取り組みをしています。

- ① 老木化した樹林の皆伐更新を進め、かつて武蔵野地域に広がっていた、適度に管理の行き届いた15～20年生の若い二次林を再生する
- ② 新しい苗を積極的に育成し、次世代の樹木に植え替える

樹木を適切に管理し、森林が保全されることは、そこに住む動植物の生態系を守ることにもなります。

そのため、これらの雑木林の保全活動を継続させるための金銭的なご支援をいただきたいです。

※本学の保全活動の体制整備が十分ではないため、金銭的支援に限定しております。

将来的には人的・物的な支援の受け入れを視野に入れて活動してまいります。

支援者向けコメント

ICU三鷹キャンパスの森は東京ドーム約13個分にもおよぶ広大な敷地です。市街地化の進んだ三鷹市・小金井市周辺ではとりわけ豊かな自然を有する国分寺崖線沿いに位置し、絶滅危惧種を含む動植物が数多く生息する雑木林や竹林が広がっています。

また、自然をフィールドにした野外実習や研究活動を行う学びの森であると同時に、近隣農家が雑木林の落葉を活用するなど、地域の貴重な自然環境資源となっています。

地域の生物多様性の保全と教育・研究の場として活用し続けるため、これまで以上に十全な管理に取り組み、次の世代に受け継げるよう努めています。今回のマッチングを機に、多くの方にご興味を持っていただき、ご支援を検討いただければ幸いです。

